

平成 19 年 度

履 修 の 手 引

新 潟 大 学 理 学 部

# 目 次

1	入学にあたって	1
2	新潟大学理学部規程	2
3	新潟大学における授業科目の区分等に関する規則	12
4	履修の心得	14
5	教育職員免許状の取得について	18
6	学芸員の資格取得について	24
7	理学部の組織	25
8	大学院の組織	25
9	自然科学研究科の構成	26
10	教授会	27
11	事務	27
12	理学部教職員一覧	28
13	理学部講義室等案内図	29
14	理学部周辺案内図	34

## 1. 入学にあたって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、受験勉強から解放され、これからの新潟大学での学生生活に期待に胸を膨らませていることと思います。理学部は、意気揚々とした皆さんの入学を心から歓迎したいと思えます。さて、皆さんがこれまで過ごしてきた高等学校とは異なり、大学では学習計画だけでなく、生活スタイルも自分自身で決めることとなります。大学での4年間は、皆さんがこれからの人生を切り開いていくために必要な、知識を蓄えるとともに人生観を確立する大切な期間です。この機会に、自分の将来をしっかりと考え、充実した大学生活を過ごして下さい。

皆さんが入学した理学部は、基礎科学である理学を教育研究するところです。現代の理学には2つの役割が期待されています。第1の役割は、知的な興味にもとづき、究極的な真理を探求することにより、ミクロの世界から宇宙に至るまでの自然界の仕組みやその成り立ちを明らかにすることです。第2の役割は、新たに得られた知識・概念・理論などを、先端技術や新しい機能をもつ素材の開発、生命生存の環境の維持・保全・創造などの広い応用分野に生かして貢献することです。

理学部が平成16年度に行った、理学部卒業生・大学院自然科学研究科理学系修了生の受け入れ先の企業に対するアンケート調査によりますと、社会は、深い専門的知識だけでなく、広い立場から総合的に判断する力を兼ね備えた人材を求めていることを示しています。私たちの理学部では、これらの能力を備えた人材を育てることによって、基礎科学及び社会の要請に応えることを教育目標に掲げています。理学部は、このような教育目標の達成を目指して、学生の皆さんが、専門的知識を系統的に習得できるように、大学学習法・自然系共通専門基礎・自然科学の専門教育に関するカリキュラムを整備しています。また、講義・演習・実験・実習・セミナーなどによるきめ細かい教育によって、学生一人一人の個性を伸ばすように努めています。さらに教養教育に関する科目も十分に習得することによって、総合的な判断力に不可欠な幅広い教養を身につけることができるように配慮しています。

この「履修の手引」は、皆さんが学習を進める上での必要事項をまとめたものです。皆さんはこの手引をよく読み、内容をしっかり理解して下さい。疑問や理解しにくい事がある場合には、自分勝手な解釈はさけて、遠慮せずに先生方や学務係に相談して、不明な点がないように心がけて下さい。これから始まる大学生活に向けて、自分自身を磨くためのプログラムを作成して有意義な学生生活を送るために、この「履修の手引」を有効に活用していただきたいと思えます。

理学部長

周 藤 賢 治

## 2. 新潟大学理学部規程

〔平成16年4月1日〕  
理規程第1号

(趣旨)

第1条 新潟大学理学部（以下「本学部」という。）の教育課程の編成，学生の履修方法，卒業の要件等に関し必要な事項については，新潟大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）に定めるもののほか，この規程の定めるところによる。

(学科)

第2条 本学部に，次に掲げる学科を置く。

数学科  
物理学科  
化学科  
生物学科  
地質科学科  
自然環境科学科

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程は，教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成するものとする。

2 専門教育に関する授業科目は，必修科目，選択必修科目及び選択科目に分ける。

(履修方法)

第4条 学生は，別表第1の定めるところにより，教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について，124単位以上を修得しなければならない。

2 別表第1に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分に基づく授業科目は，新潟大学における授業科目の区分等に関する規則（平成16年規則第38号。以下「授業科目の区分等規則」という。）の定めるところによる。

3 外国人留学生等が，授業科目の区分等規則別表に規定する科目区分の留学生基本科目に属する授業科目を履修し，その単位を修得したときは，日本語の授業科目については4単位までを英語又は初修外国語に属する一つの外国語の授業科目の単位に，日本事情の授業科目については4単位までを自然科学又は人文社会・教育科学に属する授業科目の単位に代えることができる。

4 別表第1に規定する各学科において履修すべき専門教育に関する授業科目及びその単位数は，別表第2に定めるところによる。

(履修手続)

第5条 学生は，学期の始めに履修しようとする授業科目を選択し，その授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

(追試験)

第6条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については，本人の願い出により，追試験を行うことができる。

2 前項の追試験の願い出，評価等については，別に定める。

(再試験)

第7条 教養教育に関する授業科目について，卒年次学生で1科目（外国人留学生等である場合は2科目）不合格のため，卒業できない学生については，本人の願い出により，再試験を行うことができる。

2 専門教育に関する授業科目については別に定める。

(教員の免許状)

第8条 本学部において，取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科は，次の表に掲げるとおりとする。

学科	教員の免許状の種類（免許教科）
数学科	中学校教諭一種免許状（数学）
	高等学校教諭一種免許状（数学，情報）

物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）
---	-----------------------------------

（卒業）

第9条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第4条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学部長が行う。

（編入学及び再入学）

第10条 学則第62条第1項及び第2項並びに第63条の規定による編入学又は再入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転部及び転入学）

第11条 学則第64条の規定による転部又は転入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により転部又は転入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転科）

第12条 本学部の学生で他の学科に転科を願ひ出る者に対する選考については、別に定める。

（雑則）

第13条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお新潟大学理学部規程（平成5年理規程第1号）の例による。ただし、現に物理学科に在籍する学生は、別表第2の3物理学科の表に規定する授業科目中「現代物理学への招待（物理学学習法）」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、現に在籍する学生が別表第2の3自然科学（1）各学科共通の表に規定する授業科目中、「科学・技術と社会」を、現に数学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（2）数学科の表に規定する授業科目中「数学英語」、「基礎ゼミⅠ」、「基礎ゼミⅡ」、「基礎ゼミⅢ」、「基礎ゼミⅣ」、「基礎ゼミⅤ」、「基礎ゼミⅥ」、「基礎ゼミⅦ」及び「基礎ゼミⅧ」を、現に地質科学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（6）地質科学科の表に規定する授業科目中「地質構造解析法」、「鉱物結晶学実験」、「地球化学分析法」、「水質化学分析法」、「海洋生物学実験」、「古無脊椎動物学実験」及び「応用地質学実習」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

3 平成16年度以前に入学した学生の再試験の取扱いについては、第7条の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成18年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

別表第1(第4条関係)

分類	科目区分	細区分	数学科			物理学科			化学科			生物学科			地質科学科			自然環境科学科				
			必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計		
教養教育に関する授業科目	英語	英語	2		2	2		2	2		2		2	2		2		2		2		
	初修外国語	外国語ペーシック																				
		ドイツ語																				
		フランス語																				
		ロシア語																				
		中国語	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8		
		朝鮮語																				
		スペイン語																				
	イタリア語																					
	健康・スポーツ	健康・スポーツ	1		1	1		1	1		1		1	1		1		1		1		
	情報リテラシー	情報リテラシー																				
		情報処理概論																				
		地域入門																				
	新潟大学個性化科目	地域研究																				
		自由主題																				
		人文科学																				
	人文社会・教育科学	教育人間科学	8	8	17	8	8	17	8	8	17	8	8	17	8	8	17	8	8	17	8	
		法学																				
		経済学																				
自然科学	理学																					
	工学																					
	農学																					
医学	医学																					
	歯学																					
小計		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25			
専門教育に関する授業科目	大学学習法	2		2	2		2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	自然系共通専門基礎	数学・統計学							2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		物理学							2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		化学		16	16	4	16	16	4	16	16	4	16	16	4	16	16	4	16	16		
		生物学							2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2		
地学																						
自然科学	自然科学	23	41	64	46	12	6	64	42	4	18	64	12	40又は16	53	14	64	44	58			
小計		82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82			
自由選択科目 <small>(上記科目区分の枠内からいずれでも可)</small>	自由選択科目		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17		
	合計		124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124		

注) 1. 教養教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」のうち、細区分「理学」に属する科目は、別表第2の3自然科学の所属学科に記載の科目を除く。  
 2. 専門教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」細区分「理学」における科目は、別表第2の3自然科学(1)各学科共通科目及び(2)~(7)の所属する学科の科目から履修するものとする。

別表第2 (第4条関係)

専門科目及び単位数

1 大学学習法

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	スタディ・スキルズ (数学学習法)	2	必修科目	生命科学への招待 (生物学学習法)	2
	現代物理学への招待 (物理学学習法)	2		スタディ・スキルズ (地質科学学習法)	2
	スタディ・スキルズ (化学学習法)	2		環境科学スタディ・スキルズ	2

備考： 所属学科の科目1科目2単位必修。

2 自然系共通専門基礎

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修又は 選択科目	数 学 基 礎 A	2	必修又は 選択科目	化 学 基 礎 A	2
	数 学 基 礎 B	2		化 学 基 礎 B	2
	統 計 学 基 礎	2		生 物 学 基 礎 A	2
	物 理 学 入 門	2		生 物 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 A I	2		地 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 A II	2		地 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 B I	2		地 学 基 礎 C	2
	物 理 学 基 礎 B II	2			
	物 理 学 基 礎 C I	2			
	物 理 学 基 礎 C II	2			
	物 理 学 基 礎 D	2			

備考： 別表1で学科毎に規定された単位数を修得する。

3 自然科学

(1) 各学科共通

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
選択科目	情 報 科 学	2	選択科目	科 学 ・ 技 術 と 社 会	2
	科 学 史	2		安 全 教 育	1
	宇 宙 の 科 学	2		インターンシップ特別実習a	1
	生 命 の 科 学	2		インターンシップ特別実習b	2
	新 素 材 の 物 性	2			

(2) 数学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	微分積分学 I	2	選択科目	幾何学 II	2
	微分積分学 II	2		トポロジ	2
	線形代数 I	2		確率論	2
	線形代数 II	2		情報管理学	2
	計算機概論	2		情報統計学	2
	数学講究	8		大域解析学	2
	基礎数学演習 I	2		代数構造特論	2
	基礎数学演習 II	2		幾何構造特論	2
	計算機概論実習	1		情報数理特論	2
選択科目	線形代数 III	4		情報産業論	2
	代数入門	4		数理解析特別講義 I	2
	微分積分学 III	4		数理解析特別講義 II	2
	微分方程式論	2		構造数理特別講義 I	2
	集合と位相入門	2		構造数理特別講義 II	2
	位相空間論	2		情報数理特別講義 I	2
	ベクトル解析	2		情報数理特別講義 II	2
	情報基礎数学 I	2		情報社会論	2
	情報基礎数学 II	2		計算システム実習	1
	プログラミング概論	2		デジタル表現論	2
	プログラミング演習	2		デジタル表現実習	1
	計算システム	2		ネットワーク実習	1
	グラフとネットワーク理論	2		知能システム論	2
	情報計画システム I	2		基礎ゼミ I	2
	情報計画システム II	2		基礎ゼミ II	2
	実解析学 I	4		基礎ゼミ III	2
	実解析学 II	2		基礎ゼミ IV	2
	複素解析学 I	2		基礎ゼミ V	2
	複素解析学 II	2	基礎ゼミ VI	2	
	関数解析学 I	2	基礎ゼミ VII	2	
	関数解析学 II	2	基礎ゼミ VIII	2	
	代数系 I	2	数値解析	2	
	代数系 II	2	数学英語	2	
	幾何学 I	4			

(3) 物理学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎物理学演習 I	2	選択科目	物理学基礎ゼミ	2
	基礎物理学演習 II	2		電気力学	2
	初等物理学実験	2		流体物理学	2
	基礎ベクトル解析	2		エレクトロニクス	2
	解析力学	2		計測学	2
	電磁気学 a	2		計算物理学	2
	電磁気学 b	2		特殊相対論	2
	熱力学	2		一般相対論	2
	物理学数学 I	2		量子力学 III	2
	物理学数学 II	2		統計力学 III	2
	物理学数学 III	2		原子核物理学 I	2
	量子力学 I	2		原子核物理学 II	2
	量子力学 II	2		物性物理学 I	2
	統計力学 I	2		物性物理学 II	2
	統計力学 II	2		原子分子論	2
	物理学実験 a	4		素粒子物理学 I	2
	物理学実験 b	4		素粒子物理学 II	2
	課題研究 a	4		宇宙物理学	2
	課題研究 b	4		天文学特論	1
選択必修科目	物理学演習	2	生物物理学特論	1	
	電磁気学演習	2	生体物理学特論	1	
	物理学数学演習 I	2	原子核理論特論	1	
	物理学数学演習 II	2	原子核物理学特論	1	
	量子力学演習 I	2	素粒子論特論	1	
	量子力学演習 II	2	素粒子物理学特論	1	
	統計力学演習 I	2	物性理論特論	1	
	統計力学演習 II	2	物性物理学特論	1	
	計算物理学演習	2	プラズマ物理学特論	1	
科選択	振動・波動	2	宇宙物理学特論	1	
	量子力学序論	2	原子物理学特論	1	
	現代物理学	2			

## (4) 化学科

区分	科 目	单 位	区分	科 目	单 位
必修科目	分析化学 I	2	選択科目	分析化学 II	2
	無機化学 I	2		錯体化学	2
	無機化学 II	2		無機化学 III	2
	有機化学 I	2		放射化学	2
	有機化学 II	2		有機化学 III	2
	化学熱力学	2		構造有機化学	2
	化学統計力学	2		反応有機化学	2
	量子化学 I	2		量子化学 II	2
	生体分子化学 I	2		化学反応論	2
	化学実験 I	2		分子分光学	2
	化学実験 II	2		固体化学	2
	分析化学実験	2		凝縮系化学	2
	無機化学実験	2		生体分子化学 II	2
	有機化学実験	2		生体分子化学 III	2
	物理化学実験	2		基礎機器分析	2
	生化学実験	2		有機機器分析	2
	課題研究	10		化学英語	2
選択必修科目	分析化学演習	4	化学コ口キユウム	1	
	無機化学演習	4	分析化学特論	1	
	有機化学演習	4	無機化学特論	1	
	物理化学演習	4	有機化学特論	1	
	量子化学演習	4	生化学特論	1	
	生化学演習	4			
	凝縮系化学演習	4			

## (5) 生物学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎植物学	2	選択科目	系統動物学	2
	基礎生物化学	2		植物発生生理学	2
	基礎細胞生物学	2		植物細胞生理学	2
	基礎細胞遺伝学	2		免疫生物学	2
	基礎生物学実習Ⅰ	2		動物の器官発生	2
	基礎生物学実習Ⅱ	2		発生のプログラム	2
選択必修科目	課題研究Ⅰ	8		植物生理学Ⅰ	2
	課題研究Ⅱ	4		植物生理学Ⅱ	2
	分子生物学実習	2		原書講読	2
	生物化学実習	2		分子生物学演習	4
	情報数理生物学実習	2		細胞生物学演習	4
	動物生理学実習	2		発生生物学演習	4
	植物分子生理学実習	2		植物生理学演習	4
	植物形態発生学実習	2		免疫生物学演習	4
	動物形態発生学実習	2		生物学特論ⅠA	1
	臨海実習Ⅰ	2		生物学特論ⅠB	1
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設の臨海実習関係科目	当該科目について定められている単位数(2単位まで)		生物学特論ⅡA	1
環境生物学野外実習A	1	生物学特論ⅡB		1	
選択科目	分子生物学	2		生物学特論ⅢA	1
	生物化学	2		生物学特論ⅢB	1
	細胞生物学	2		生物学特論ⅣA	1
	生体情報学	2		生物学特論ⅣB	1
	進化生物学Ⅰ	2		生物学特論ⅤA	1
	進化生物学Ⅱ	2		生物学特論ⅤB	1
	動物機能制御学	2	生物学特論ⅥA	1	
	分子生理学	2	生物学特論ⅥB	1	
	遺伝学	2	ホルモンの生物学	2	
	植物分子生理学	2	内分泌学演習	4	
	植物細胞生物学	2	適応生物学	2	
			多様性生物学A	2	
		機能形態学A	2		

備考：1. 選択必修科目の課題研究については課題研究Ⅰ又は課題研究Ⅱのいずれか1科目を履修し修得すること。この場合において、課題研究Ⅱを履修することができる者は、理学部長が別に定める。

2. 選択必修科目の実習科目については8単位以上を修得すること。

## (6) 地質科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必 修 科 目	地質調査法基礎 I	1	選 択 科 目	古生物学 B	2
	地質調査法基礎 II	1		地層学 B	2
	地質調査法 I	2		環境地質学 A	2
	地質調査法 II	2		環境地質学 B	2
	地質調査法実習 I	1		鉱物学 B	2
	地質調査法実習 II	1		地球物理学	2
	古生物学 A	2		土木地質学	1
	地層学 A	2		石油地質学	1
	地史学原理	2		地球科学特別講義 I	1
	地史学 A	2		地球科学特別講義 II	1
	地史学 B	2		地球科学特別講義 III	1
	テクニクス	2		地球科学特別講義 IV	1
	構造地質学	2		資源・環境地質学	2
	岩石学 A	2		地球化学分析法	1
	岩石学 B	2		水質化学分析法	1
	岩石学実験 I	1		地質構造解析法	1
	岩石学実験 II	1		第四紀環境学	2
	鉱物学 A	2		日本とアジアの地質	2
	鉱物結晶学実験	1		海洋地質学	2
	コミュニケーション実習	1		固体地球化学	2
	地学英語	1		環境地質学実習	1
	セミナー	2		応用地質学実習	1
	野外実習基礎	1		海洋生物学実験	1
	野外実習 I	1		古無脊椎動物学実験	1
	野外実習 II	2			
	野外実習 III	4			
	課題研究	10			

(7) 自然環境科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	自然環境科学概論 A	2	選 択 科 目	物質科学 B	2
	自然環境科学概論 B	2		環境流体力学	2
	自然環境科学概論 C	2		地球科学	2
	基礎地学実験	2		エネルギー変換論	2
	基礎物理学実験	2		機能物質科学	2
	基礎生物学実験	2		環境汚染論	2
	基礎化学実験	2		環境経済システム論 I	2
選択科目	資源・環境論	2		環境政策論	2
	第四紀環境変遷論	2		自然環境科学特論 A	1
	気象学	2		自然環境科学特論 B	1
	原子分子科学	2		自然環境科学特論 C	1
	地形変動論	2		自然環境科学特論 D	1
	地盤環境論	2		基礎力学演習	2
	生態学	2		基礎電気磁気学演習	2
	機能形態学 A	2	環境生物学演習	2	
	機能形態学 B	2	自然環境科学実験 A	2	
	多様性生物学 A	2	自然環境科学実験 B	4	
	多様性生物学 B	2	自然環境科学実験 C	4	
	保全生物学	2	環境地質学野外実習	2	
	進化生物学	2	環境生物学野外実習 A	1	
	適応生物学	2	環境生物学野外実習 B	1	
環境分析化学	2	環境生物学野外実習 C	1		
化学物質反応論	2	課題研究	10		
物質科学 A	2				

### 3. 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第48条の規定に基づき、新潟大学（以下「本学」という。）の学士課程教育における授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 本学の授業科目は、別表のとおり区分する。

2 各年度において開設する授業科目は、全学教育機構（以下「機構」という。）が公示する授業科目開設一覧の定めるところによる。

3 授業科目には、学生の体系的な履修に資するため、学問分野及び水準を示すコードを付すものとする。

4 前項のコードは、機構において定めるものとする。

(授業科目の開講方式等)

第3条 授業科目は、原則として半年学期制により開講する。

(授業科目の履修)

第4条 学生は、所属する学部が定める教育課程に基づき、機構が公示する授業科目を履修するものとする。

(授業科目の聴講の受付及び承認)

第5条 授業科目の聴講の受付及び承認は、その授業科目の担当教員が行う。

2 前項の聴講の受付及び承認は、各学期の授業開始後3週間以内に行うものとする。

(授業科目の修了の認定)

第6条 授業科目の修了の認定は、その授業科目の担当教員が行う。

2 授業科目の試験等において、不正行為を行った学生に対しては、その者が所属する学部の教授会の議を経て、学部長が必要な措置を講じるものとする。

(授業科目の評価)

第7条 授業科目の評価は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た学生を合格、59点以下の成績を得た学生を不合格とする。

2 前項の成績の評語は、90点以上の成績を「秀」、89点から80点までの成績を「優」、79点から70点までの成績を「良」、69点から60点までの成績を「可」及び59点以下の成績を「不可」とする。

3 前項の規定にかかわらず、授業科目の成績において点数をもって評価できない場合は、「認定」又は「合格」の評語をもって評価することができる。

(授業科目の追試験)

第8条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、別に定めるところにより、追試験を行うことができる。

(授業科目の再試験)

第9条 授業科目の評価が不合格となった学生で、卒業又は進級できないものがある場合は、別に定めるところにより、再試験を行うことができる。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項は、機構又は各学部が定める。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則（平成16年規則第32号）は、廃止する。

3 平成16年度以前に入学し、現に在学している学生がこの規則により授業科目を履修した場合の全学共通科目又は教養科目（廃止前の新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則に基づく全学共通科目又は教養科目をいう。）への読替えについては、機構において公示する。

## 授 業 科 目 区 分 表

科目区分	細区分
英語	英語
初修外国語	外国語ベーシック ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語 スペイン語 イタリア語 外国語スペシャル その他
健康・スポーツ	体育実技 体育講義
情報リテラシー	情報リテラシー 情報処理概論
新潟大学個性化科目	地域入門 地域研究 自由主題
留学生基本科目	日本語 日本事情
大学学習法	大学学習法
自然系共通専門基礎	数学・統計学 物理学 化学 生物学 地学
自然科学	理学 工学 農学
人文社会・教育科学	人文科学 教育人間科学 法学 経済学
医歯学	医学 歯学

## 4. 履修の心得

理学部では、多様化する学生に対応して教育と研究の充実を図っています。専門教育についての基本的考え方、視点として次の2点が挙げられます。

- ・学生の多様化に応えるための、4年一貫教育による体系的・段階的な学習。
- ・社会の要請に応える、幅広い学際的人材育成のための、各専門間の境界領域教育の充実。

理学部規程は、入学年度の規程が卒業するまで適用されますので、自分の適用規程を確認するときは入学年度の「履修の手引き」で行ってください。

### I 「教養教育に関する授業科目」

本学部の教育課程は、「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」により編成されています。「教養教育に関する授業科目」はその内容等に応じ、英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、人文社会・教育科学、自然科学及び医歯学に区分されており、幅広い教養を身に付けるための授業科目です。

履修にあたっては、各学科のガイダンスに従ってください。

### II 専門教育に関する授業科目

「専門教育に関する授業科目」には、大学学習法、自然系共通専門基礎、自然科学（理学）に区分された科目があります。それぞれの区分について、必修科目、選択必修科目及び選択科目があり、各学科が指定した単位を修得しなければなりません。

各学科の授業科目及び単位数は、理学部規程別表第2及び講義概要の各年度入学者向け開講科目表を参照してください。

#### ○ 大学学習法

大学教育への導入科目です。

#### ○ 自然系共通専門基礎

自然系学生が専門を学ぶ上で基礎となる授業科目です。

#### ○ 各学科共通科目（総合科目）

一定の個別の専門知識を学んだ学生に対して、科学の持つ多面的な側面から自分の専門を見直し、かつ、総合的判断力を身に付けるための科目です。学科の枠をこえて全学科の協力を得て設けられています。所属学科の科目に偏らず広く履修することが望まれます。

### III 理学部規程別表第1（第4条関係）及び別表第2の履修方法

【教養教育に関する授業科目】 25単位を修得してください。

「英語」、「初修外国語」、「健康・スポーツ」、「情報リテラシー」、「新潟大学個性化科目」、「人文社会・教育科学」及び「医歯学」区分の科目は、「新潟大学授業科目開設一覧」の科目の中から、別表第1の区分毎に規定する単位数を修得してください。

「自然科学」区分の科目は、所属学科の専門教育に関する授業科目（理学部規程別表第2）以外の科目から選択して修得してください。

【専門教育に関する授業科目】 82単位を修得してください。

理学部規程別表第2から以下に留意して修得してください。

#### 1. 大学学習法 2単位必修

所属学科が指定する科目を修得してください。

#### 2. 自然系共通専門基礎

別表第1で所属学科が各細区分毎に規定する単位数を修得してください。

主聴講学部・学科が指定されている科目がありますので、履修に際しては注意してください。

#### 3. 自然科学（理学）

別表第1で各学科が規定する科目・単位数を別表第2を参照の上、修得してください。

#### 【自由選択科目】

17単位を「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」から選択して修得し

てください。

## ○ 専門教育に関する授業科目の学科別留意事項

〔物理学科〕

自然系共通専門基礎科目

物理学基礎AⅠ及び物理学基礎AⅡが必修です。

なお、物理学基礎BⅠ、BⅡ、CⅠ、CⅡ及び物理学入門の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔地質科学科〕

自然系共通専門基礎科目

「数学・統計学」の選択必修科目は、数学基礎A、数学基礎B又は統計学基礎から2単位の修得が必要です。

コースへの所属

「地質学専修コース」と「地質エンジニアリングコース」があり、3年次進級時にコース分けを行います。したがって、本学科の3年次以上の学生は、必ずどちらかのコースに所属することになります。それぞれのコースの内容、履修科目等については、別途配付する「地質科学科 教育プログラムの案内」で確認して下さい。

〔自然環境科学科〕

自然系共通専門基礎科目

細区分毎の必修科目は、数学基礎A、数学基礎B、統計学基礎、物理学基礎D、化学基礎A、化学基礎B、生物学基礎A、生物学基礎B、地学基礎A、地学基礎Cの10科目（20単位）です。

また、「物理学」の選択必修科目は、物理学基礎AⅠ又は物理学基礎BⅠから1科目（2単位）の修得が必要です。

## ○ 自由選択科目についての学科別留意事項

他学科及び他学部等の授業科目を履修することができますが、他学部の専門教育に関する授業科目については、以下のような履修にあたっての留意事項があります。

〔物理学科〕

履修が許可された段階で学科として認めるかどうかを決めます。

〔生物学科〕

学務委員と相談後、学科教員会議で審議して決めます。

### 【注意】

1. 「教職に関する科目」は卒業要件単位(124単位)とはなりません。ただし、数学科では「数学科教育法Ⅰ」、「数学科教育法Ⅱ」、「数学科教育法Ⅲ」、「数学科教育法Ⅳ」、「情報科教育法Ⅰ」及び「情報科教育法Ⅱ」を、卒業要件単位（専門教育に関する授業科目）に含めることができます。
2. 教育職員免許状取得のための実験科目の単位は、卒業要件単位に含みません。
3. 学芸員資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
4. 副専攻入門科目及び国際センター開設科目は、卒業要件単位に含みません。

## IV 履修申請

原則として「学務情報システム」（Webブラウザ）から行います。

ただし、集中講義等で「聴講票」により履修申請を行う科目がありますので、その都度通知します。

## V 履修確認

原則として「学務情報システム」（Webブラウザ）から行います。学期ごとに履修科目確認期間があります。後日思わぬ不利益を被ることのないように、必ず確認してください。

確認期間については、学務情報システム画面若しくは掲示板で確認してください。

## VI 進級

各年次へ進級できるものは、各学科が別に定める。

## Ⅶ 試験時における注意事項

受験に当たっては、不正行為のないよう厳正な態度で臨んでください。

不正行為を行った学生に対しては、当該科目の受験を無効とするほか、当該年度の全科目の単位不認定、若しくは本学学則第73条による懲戒、又はそれらを併せた処置を行うことがあります。

## Ⅷ 成績とGPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した授業科目について、1単位当たりの成績の平均値（GPA）を算出します。

GPAは各学期毎に算出し、入学後の全ての学期において履修登録した授業科目について、累積GPAを算出します。

なお、GPA算出の対象となるのは、卒業要件単位として認められる科目と副専攻科目です。

累積GPAと全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表していると見ることができます。

GPAは大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証として導入されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするため、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

### 【注意】

取消手続きを行わなかった授業科目、試験を受けなかった授業科目があると、累積GPAが下がることとなります。

### ○成績評価基準

100～90点(秀)	授業科目の目標を超えている。
89～80点(優)	授業科目の目標に十分達している。
79～70点(良)	授業科目の目標から考えると一定の水準に達している。
69～60点(可)	授業科目の目標から考えると最低限を満たしている。
59点以下(不可)	授業科目の目標に達していない。

### ○GPA計算

100点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント（GP）は、次の計算式で算出されます。ただし、50点以下の場合は0となります。

$$GP = \frac{\text{得点} - 50}{10}$$

GPAは、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積GPAは、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

<例> 85点の場合、 $GP = (85-50)/10 = 3.5$  となります。

## Ⅸ 席次

各学科各学年毎の席次は、取得単位数及び累積GPA等により総合的に決定するものとし、その基準は、各学科が別に定める。

## X 重複履修について

単位を修得した授業科目の成績に不満がある場合、同一科目を再度履修することができます（再履修）。

ただし、重複して単位を取得しても、卒業要件単位には1科目分の単位しか認められません。

また、GPAの算出にあたっては、GP値の高いものが計算対象となります。

※ 再履修できない科目（実験・実習科目他）もありますので、履修申請の際には注意してください。

#### XI 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。

送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、各学科学務委員に申し出てください。

#### XII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。届出用紙は、学務第二係にあります。

#### XIII 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等することがあります。

入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所および電話番号を必ず登録してください。連絡先に変更があった場合は、学務第二係に届け出るとともに登録内容の更新を行ってください。

届出がない場合には、不利益を被ることがありますので必ず届け出てください。

#### IVX その他

##### 1 転部・転科

転部・転科を希望する場合は、所属学科長及び学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、学務第二係にあります。

（理学部への転部及び転科志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。）

##### 2 休学・退学

保護者と相談の上、所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、学務第二係にあります。

##### 3 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届を提出してください。

届出用紙は、学務第二係にあります。

##### 4 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板及び所属学科掲示板を見てください。

掲示を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。

## 5. 教育職員免許状の取得について

理学部において取得することができる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

区分	免許状の種類	免許教科
理学部	中学校教諭一種免許状	数学, 理科
	高等学校教諭一種免許状	数学, 情報 理科

※新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程に進学すると、専修免許状の取得が可能です。

### 教育職員免許状取得に必要な資格

免許状の種類	所用資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする科目の最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること		20	31	8
高等学校教諭一種免許状			20	23	16

免許状取得には、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」の他に「一般教育科目」（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）の単位の修得が必要です。

中学校教諭免許状取得には更に「介護等の体験」が必要です。

### 一般教育科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

科目	単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法A 日本国憲法B 日本国憲法C 日本国憲法D		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
体育	2	健康スポーツ科学実習 I ○ 健康スポーツ科学講義		1 2	
外国語コミュニケーション	2	共通英語 基礎英語 発展英語 理工英語読解		1 1 2 1	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
情報機器の操作	2	情報リテラシー入門 情報処理概論A 情報処理概論C 情報機器操作入門 UNIXリテラシー演習		2 2 2 2 2	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科 ※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと

○印：免許状取得上の必修科目

教科に関する科目，教科又は教職に関する科目（免許法施行規則に定める科目）

	中学校一種免許状		高等学校一種免許状	
	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ  ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上  計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」  計8単位以上	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ  ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上  計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」  計16単位以上
情報			情報社会及び情報倫理（実習を含む。） コンピュータ及び情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現及び技術（実習を含む。） 情報と職業  ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上  計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」  計16単位以上
理科	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む）  ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上  計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」  計8単位以上	物理学 化学 生物学 地学  ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上  物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学実験（コンピュータ活用を含む）  ◎上記4実験科目のうちから1実験科目1単位以上  計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」  計16単位以上

教科に関する科目

数学科 (数学)

数学科 (情報)

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
<b>代数学</b>		<b>情報社会及び情報倫理 (実習を含む)</b>	
線形代数I	2	○ 情報社会論	2
基礎数学演習II	2	<b>コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)</b>	
代数入門	4	統計学基礎	2
代数系I	2	計算機概論	2
代数系II	2	計算機概論実習	1
代数構造特論	2	○ プログラミング概論	2
<b>幾何学</b>		○ プログラミング演習	2
線形代数II	2	情報統計学	2
線形代数III	4	○ 知能システム論	2
ベクトル解析	2	計算物理学 (物理学科)	2
幾何学I	4	計算物理学演習 (物理学科)	2
幾何学II	2	<b>情報システム (実習を含む)</b>	
トポロジー	2	○ 計算システム	2
幾何構造特論	2	○ 計算システム実習	1
<b>解析学</b>		○ 情報計画システムI	2
微分積分学I	2	○ 情報計画システムII	2
微分積分学II	2	情報数理生物学実習 (生物学科)	2
微分積分学III	4	<b>情報通信ネットワーク (実習を含む)</b>	
基礎数学演習I	2	○ 情報基礎数学I	2
集合と位相入門	2	○ グラフとネットワーク理論	2
位相空間論	2	○ ネットワーク実習	1
複素解析学I	2	<b>マルチメディア表現及び技術 (実習を含む)</b>	
複素解析学II	2	○ 情報基礎数学II	2
関数解析学I	2	○ デジタル表現論	2
関数解析学II	2	○ デジタル表現実習	1
実解析学II	2	<b>情報と職業</b>	
大域解析学	2	情報管理学	2
<b>確率論, 統計学</b>		○ 情報産業論	2
実解析学I	4		
確率論	2		
<b>コンピュータ</b>			
微分方程式論	2		
数値解析	2		

○ : 必修

